

挑む!

フットサル・シュライカー大阪監督

木暮 賢一郎さん(38)

大阪から世界へ
熱血「キング」

神奈川県出身。大学から本格的にフットサルを始め、2001年以降、12年間日本代表に選出。06年のアジア最優秀選手。14年に大阪の監督に就任。

フットサルのFリーグで今年3月、新たな歴史を刻んだ。セミプロチームのシュライカー大阪を率いて初優勝。リーグ発足から9連覇を果たしていたプロチーム・名古屋オーシャンズを抑えての偉業だった。「名古屋と自分た

ちは違うという甘えた意識を変えたかった」。勝負にこだわる情熱的な指導で、就任3季目にして頂点に導いた。フットサル界の「キング」の異名を持つ。ワールドカップに3大会連続出場。本場スペインのリーグでも活躍し

た。2013年に現役引退後、日本と海外との差を埋めたいとの思いで指導者の道へ。「日本ではマイナーな競技をメジャーにしたい」。初めて見る人も魅了できるスタイルを意識し、大阪を得点力のあるチームへと変革した。次世代の育成にも力を注ぐ。自身も含め、従来のトップ選手のほとんどは「サッカー育ち」。攻守の切り替えや判断力の速さがより必要なフットサルに慣れ親しんだ選手を増やしたいと考へ、高校生年代の練習も指導する。「フットサル出身者がリーグの大半を占めれば、日本の転換期になる」。いつの日か日本代表の監督として指揮を執るのが夢だ。「まずはクラブで結果を出すことがすべて。現役時代の経験も伝えながら、大阪から世界で通用する選手を育てていきたい」

文・岩佐友 写真・堀内義晃

記者から

フットサルの未来を語る言葉に熱がこもる。日本のパイオニアが育てる選手を楽しみにしたい。